

全5回シリーズ：オンラインセミナー

化学論文の書き方

—Move分析が示す化学論文の型と定型英語表現—

※本セミナーはオンラインで開催します
※1回のみ参加も可能です（録画も公開します）

講師



河本 健

ライティングセンター 特任教授
ライフサイエンス辞書プロジェクトのメンバー。専門は、生化学と英語論文コーパス研究。
<著書>「ライフサイエンス トップジャーナル300編の『型』で書く英語論文」、「トップジャーナル395編の『型』で書く医学英語論文」、「ライフサイエンス 英語表現使い分け辞典」など多数。

対象：広島大学の研究者

※大学院生も参加可

新任教員研修プログラムの対象です

概要

研究論文では、明快な論理構成に沿った流れを、定型英語表現（キーフレーズ）を用いて構築することが必要である。勿論そこには、学問の分野ごとに特有の様式がある。そこで我々は、化学領域のトップジャーナル7誌から集めた150論文の言語学的分析を行った。各々の論文を11の構成要素（Move）に分割した論文コーパス（データベース）を作製し、それらを相互に比較することによって、各Moveで有意に高頻度で使われるキーフレーズを抽出した。さらに、これらのキーフレーズを分類して、Moveの下位構造となるStepを設定した。このように、化学論文の各Section（Introduction, Methods, Results & Discussion, Conclusion）は複数のMoveで構成され、Moveは複数のStepで構成される。本セミナーでは、「Step→Move→Section」からなる**化学論文の型**に基づいて、分類された**キーフレーズ**を活用し、論理的で分かりやすい論文を構築するための方法を示す。

セミナースケジュール

2022年

- 【第1回】 8月25日（木） 18：00～19：30
化学論文の構造・Introductionの構成(Move)と定型表現
- 【第2回】 9月1日（木） 18：00～19：30
Introductionにおけるストーリー展開の基本技術
- 【第3回】 9月8日（木） 18：00～19：30
Results&Discussionの構成(Move)と定型表現
- 【第4回】 9月15日（木） 18：00～19：30
Conclusionの構成(Move)と定型表現 / IntroductionとConclusionの対応 / Methodsの構成(Move)と定型表現 / Titleの付け方の基本ルール
- 【第5回】 9月22日（木） 18：00～19：30
Abstractの基本構造と書き方 / 文法力の鍛え方とライフサイエンス辞書コーパス活用法

※Microsoft Teamsを利用します。参加ご希望の日にちを選んで参加登録を行ってください。